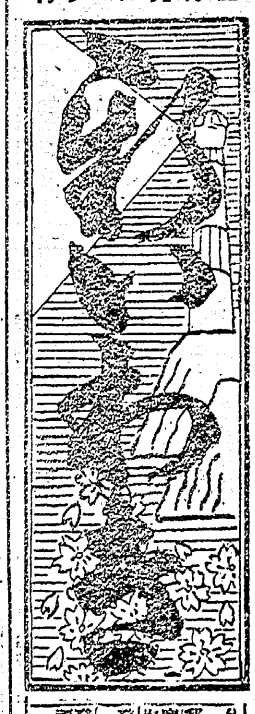
五月九日　夕刊



休日　日曜　祭日
郵税十一ヶ月　二十五錢
一部二錢
廣告料　一行　四十錢
場所指定　貳拾錢增
發行兼編輯印刷人　牛谷政榮
發行所　福島縣平町大町二三　新いわき新聞社

平町本町通の舗裝

愈よ本年度に施行

延長二百三十間に幅員六間　地元負擔を加へ二萬圓で

平町に於ける國道筋の道路舗裝工事は或は沒の運命になりはせぬかと氣遣はれてゐたが昨八日の匡救工事配當發表に於て一万五千圓を割當てられた同工事區域は延長七百五十米（二百三十間弱）幅員九米五（六間弱）に對するもので長橋町から五丁目愛谷江橋際に至る全線を切半された元警察署前より本町通りを五丁目に及ぶ施行區であるが所記の全線に對して地元負擔一万圓は町として覺悟が既に出來て居り内町費から五千圓を支出される筈なので今回の工事に受益者負擔二千五百圓町支出二千五百圓を合算すれば二萬圓であるから施行に對する金額には大して豫算に狂ひのあるものでなく相當完全な工事が出來るであらうと

石城の匡救土木配當

合計七萬六千四百圓

道路四萬五千圓港灣一萬七千圓　河川一萬八千三百卅三圓

昭和九年度に於ける匡救土木各町村割當は昨八日發表されたが石城郡の配當額は左記の如く道路工事に四萬五千圓港灣に一萬七千六百圓河川方面に一萬八千三百三十三圓合計七萬六千四百三十三圓で約百萬圓の申請額に對する七分に當るものである

◇道路夏井一二〇〇圓　高久一二〇〇圓　鹿島五〇〇圓　磐崎一八〇〇圓　田人三〇〇〇圓　渡邊二五〇〇圓　植田八〇〇圓　山田一〇〇〇圓　錦一〇〇〇圓　勿來一〇〇〇圓　上遠野一〇〇〇圓　入遠野一〇〇〇圓　川部二〇〇〇圓　湯本五〇〇〇圓　内郷五五〇〇圓　好間一〇〇〇圓　永戸一〇〇〇圓　草野三〇〇〇圓　大浦三八〇〇圓　四倉一〇〇〇圓　小川二二〇〇圓　計四萬五千圓

◇河川勿來五〇〇〇圓（蛭田川）玉川七七〇〇圓（矢田川）赤井五六三三圓（茨原川）計一萬八千三百三十三圓

◇港灣豊間二八〇〇〇圓　植田二八〇〇〇圓　江名一二〇〇〇圓　計一萬七千六百圓

愛國婦人會支部總會

平町から參列の遺族と傷痍軍人

愛國婦人會福島支部の總會は來六月二十四日福島市に催される筈で同會には總裁殿下の思召による特別御下賜金も有之趣にて平町に於ける軍人遺族及び傷痍軍人の中參列資格者に選ばれたるもの左記五名であると

軍人遺族緒形惟親（紺屋町）齊藤やゑ（南町）沖野仙五郎（田中）比佐みな（田町鈴木條三郎方）◇傷痍軍人岩本重雄（田町）以上

平土木の直營工事

九年度二萬九千圓

二十六万三千八百圓の申請に一割强は惠まれたる方

石城郡に對する匡救土木の配當額は別項所報の如くであるが尙ほ此の外に縣直營工事として九年度に施行される平土木監督所の事業は左記二万九千圓であるが總額二十六万三千八百圓を申請した一割强の割當は他に比較し多い方であつて石城は河川港灣に相當大きい直營工事を取つてゐながら更に惠まれたものと云はねばならず濱通りでは双葉郡川内富岡線の道路に二千五百圓浪江請戸線の幾世橋地内に四千圓計六千五百圓の富岡土木監督所及び原土木所の二萬四千六百圓に較べてそれを想像され樣と云はれてゐる

◇平土木所の縣直營工事三株勿來停車場線（田人地内）三〇〇〇圓　石川湯本線（入遠野地内）六〇〇〇圓　水田平線（入遠野）二〇〇〇圓　上三坂平線（好間地内）三〇〇〇圓　國道舗裝（平）一五〇〇〇圓（以上）

平の鐵工機械製産

年額實に七十萬圓

二十ケ工場に從事する四百人　つもれば大きい此の數字

平町に於て既往十數年間に激增した鐵工業は磐城鐵工機械同業組合に三十余名の會員を數えられる膨張さで此の間には中間契約營業者もあるので實際に工場を有つものは約二十戸であらう、是れ等當業に顧客とされるものは大体に於て附近炭鑛のポンプ附屬品その他の製作に終始してるものと漁濱の發動機船部分品修理を主とするもの〻二方面で炭鑛にも鐵工場はあるが自家修理が割合に高くつくと云ふ注文だけに自然格安な勉强を奮發せねばならぬ現在工場の主なるものを上ぐれば

製罐では七丁目の河田、大工町の鈴木◇鑄物では月見町の佐藤　才槌小路の武藤　材木町の吉健、七丁目の工藤、山田、六丁目の佐藤、などで旋盤の仕上げ專問では五丁目の吉田その他同業としての主なるものは前記の河田佐藤（月見町）吉健、大町の木田、七丁目の眞柄などがある外に火作り專問を入れて町内諸工場に働く職工と共の他の從事者總數は武藤の約四十人を筆頭として四百人に達する此の一ケ年の製作高は年によつて浮沈はあるが前記二十個工場で一ヶ月平均三千圓と見て毎月六萬圓づ〻年額實に七十二萬圓に上り釜屋商店から受けてゐる材料の大部分は一ケ年二十萬圓位その他東都から直接仕入の材料五萬圓前後かと云はれてゐるが昨年に較ぶればづ〻と仕事が多く四月は若干であつたが去る三月中の如き何處の工場も注文が溢れると云ふ繁昌であつた

納税美談　納入一番乘の家憲

（下）泉村の佐藤彦松さん

留守居の老母にも納入一番乘りの家憲を知る爲め直ぐ樣耕圃の家人に旨を通ずべく老軀には近からぬ約二十町の路を杖を曳て駈つけると折柄手に持つ鍬を投げすてた彦松氏は野良着のまゝ役場に馳せて一番乘りの納入だと心得たところ折惡しくも村内の某氏が所用の途に於て納税してゐた爲め二番となつた事が心外でならず打萎れた際役場への距離の關係では矢張り一番だと慰められて機嫌が直るほど納税を厳守する同氏で未約の切符を自家に泊めることを辱としてゐる從つて村内では期限内納入の第一人であつて昭和五年二月十一日紀元の佳節に火鉢一個を添えて表彰され昭和七年度から泉村が經濟更生村に指定された同計畫に當り全村十七ケ組合の納税組合を立ち所に設立されたのも彦松氏の如き慈鑑あるがためと認められてゐる、同村では其の後新設納税組合も殖えて各組合共に好成績を上げてゐるので近き將來には村を擧げて模範の納税村となること疑ひなしと云はれてゐるが同氏の住む大字下小川納税組合の設立については特に努力するところ多く部落内の笹川英治氏を組合長に推し彦松氏は其の役員で二百二十戸の部落内一戸も殘さず組合員にしたいと奔走されてゐるが自ら範を示しての努力は必ず實現するであらう事を信じられ村内も之れに感化されるものが多い（終り）

十一日の俵米共販出荷

既に六百二俵

石城郡販賣聯合會に於ける來る十一日の俵米定期共販は昨今の米價高に出荷多く今九日までに申込まれたるもの既に左記六百二俵に達してゐるが前回の一俵（五等）九圓二十五錢より若干の高値を見るものと豫想されてゐる

平農倉等外一九俵　同町農倉庫五等六〇俵等外一〇〇俵　草野等外一〇二俵　神谷等外一〇〇俵　勿來五等一一俵　等外二一〇俵

丸友ホールで音樂の夕

平町TK音樂會主催する音樂と餘興の夕は來る十三日午後六時から同町四丁目マルトモホールに於て之かれるが來聽多き模樣である

湯本町の女詐欺

被害額二千五百圓

今明日中に送檢か

石城郡湯本町の三函荒川せつ（三九）の文書僞造詐欺犯は既報の如く去る三日以來平署の取調べ中であつたが被害關係者は三十餘名で金額二千五百圓餘に達し最初手先あるもの〻如く傳へられたが空虛の證書は自ら他人の名義を記書し或は小學生を利用して書かせたもので今明中平檢事局へ送られる模樣である

十丹賭博非現行

石城郡湯本町の天王崎青物商馬上榮市（三四）同町俥城豆腐屋高野喜平（三九）同豆腐屋高橋沖久（六一）同郡泉村生れ當時湯本町の關船居住青物商吉田治男（三四）は榮市と喜平の共謀する現金賭けの十丹賭賂を去る三月中旬以來榮市方裏庭及び隣家の榮市實姉鈴木なを方六疊座敷で前後十數回に亘り行はれてゐたこと平署に探知檢擧取調べ中であつたが明十日送局されると

雇人と共謀して詐欺

石城郡湯本町の三函下駄商吉田廣（三六）は平町一丁目下駄鼻緒商松本磯右ヱ門及び同町四丁目同商齊藤榮三郎同郡四倉町同商村田軍治三名から詐欺の告訴を受け平署の取調べの上今九日書類を送局されたが理由は告訴人の三名何れも五六年前から前記吉田と取引し磯右ヱ門は百四十四圓英三郎は四十六圓余軍治は三十六圓余合計二百二十六圓の品代殘金あるを仕拂はざる目的で去る三月三十日自家の雇人高久鶴城と共謀し商品全部を鶴城に賣却したる如く表面をつくろつたものであると

店頭裝飾の優良賞授與式

月刊いはき新報社が平町商工會の後援で催された同町内店頭並にウインドー裝飾競技會を審査の結果既報の受賞者を決したが來る十二日午後六時マルトモホールで授與式を擧行する當日は同會者の謝辭青沼町長の辭、審査長鈴木邦三郎氏並に審査員の感想などあり出席者一同で懇親會を催されると

常識講座

クレヂットは債權又は信用の謂であつたが歐州大戰後國際貸借上に特殊の意味をもち一國が世界金融市場に設けた當座借越の如きもの共れで對外支拂ひをなす樣なものをも云ふ

映画館ニュース

世界館　十日より

◎松竹下加茂【刺青判官】第三篇

◎新興現代劇【俠艶錄】出演…鈴木澄子　由利健次　山形直代　泉滯子　見明凡太郎　劇中の劇に義太夫出語り重の井子別れの場あり

◎阪妻プロ【燃える富士】東海散華の卷　原作…吉川英治　監督…東隆史　主演　阪東妻三郎　森靜子　櫻木梅子　橘藤子　春路謙作　梅若禮三郎　堀川浪之助　吉成てる　其他總出演

馬鈴薯の栽培法【六】

石城分場　矢ケ崎諫

石城分場の砂質壤土の乾燥地に於ても一回の土よせの深さは一寸五分位が適田である故に、一般に一寸五分内外位が適當の樣である、第二回は稍深目に行ふ方がよい、

土よせの時期は前記の如くであるが、餘り遲れると既に芋が肥大してゐるために却て中耕により根を切斷して勞多くして効少ないものである、

追肥は前記のやうに二回位に行ひ、第一回は下種後約一ケ月即ち發芽抽出後直ちに行ふのであるが、此の場合には株の中間に小穴をほりそれに人糞尿を反當百貫目位を施し人糞尿使用困難なる山間地方では人糞尿の代りに硫安を反當二貫五百匁位を使用する、第二回は第一回の追肥後約一ケ月後に行ひ第一回同樣に人糞尿反當百貫目位又は硫安二貫五百匁位を施用すればよい追肥の場合注意しなければならないことは餘り晩くまで行はないことである、遲れて施用すると芋に瘤を發生し外觀を損ずる恐れがある、

馬鈴薯は下種後六十日乃至七十日位を經過すれば花梗を抽出して開花するものである石那地方では早生種は六月上旬頃、晩種はそれより十日位遲れて花梗を抽出して開花する、花梗を抽出して開花せしめるとそのまゝ放任すれば芋の發育肥大に惡影響を及ぼし收量を減ずるものであるから花梗を抽出したならば開花前に摘除する必要がある、

牛も豚も優良品の自慢
肉の御用命は　三三屋　平町田町

紺屋町　藤沼醫院　平町
電話　五〇七番

石炭　コークス　豆炭
平町郵便局通り　水野石炭店　電話二九九番

内科、小兒科
入院需應
大森醫院
醫學士　大森勇
平町南町　電二五八番

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、繼齒架工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、
二、口腔外科
三、レントゲン科
開業
中野齒科醫院
院長　日本齒科醫學士　中野惠次
日本齒科醫學士　西川誠
平町田町(松月堂向ひ)電話五〇九番

磐城名産特賣所
御土産物には郷土の名産が第一
石城みやげ　七濱の生産品　地元産の果實
平みやげ　名菓各種
平町驛前

新設、電話二二一番
何卒御利用の程を……
平町紺屋町一一
上原家政婦會
(産婆)上原通子

産婦人科醫院
外科
藥局
平町新川町九一
入院隨意　病室完備
醫學博士　木村寅次郎
藥劑師　玄蕃彌一
長　木村病院
電話一六四番

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店　平町二丁目　關內正一　電話一六番
事務取扱者　阿部助次郎

東京市日本橋通り三丁目　東京勤産火災保險株式會社
仙臺市大町三丁目　仙臺支部
福島縣平町七丁目　電話三二九番　二九五番
營業所
磐城代理店
河田鐵工場
河田梅吉

マグネトロン
百萬の富より健康
此新療法で病弱を御試しなさい
マグネトロンは極めて簡單な治療器を着衣の上から施すもので憶却でありません
『治療代』…は當分一回三十錢として居りますが御家庭の事情により割引も施療も致します
嘘か實か百聞一見御試し下さい
治療所　日中は城山聚樂園(電話一〇九)　日沒後は一丁目自宅(電話四七〇)
醫療士　飯田近治

磐城共濟病院　(福島縣平町電六四一)
毎日午前八時より午後十時迄診療
院長　醫學博士　石山謙郎　(電話六四一番)
副院長　醫學博士　五十嵐雄二　(電話三七〇番)
內科、小兒科
產婦人科
外科耳鼻咽喉科
皮膚泌尿器病科花柳病科
X光線療物科
生試驗所
藥局
醫學士　齋藤七五三男
部長　醫學士　前澤正一　(電話二七二番)
醫學博士　石山謙郎
技術員　獸醫　高後利雄
藥局長　藥劑師　吉本孝平
事務長　鈴木實雄
◎……病室完備……入院隨意……◎

自家醬油製造
諸原料(種麹菌カラメル)大勉强
特約販賣　山野邊藥局
平町五丁目角